

令和6年度福岡市早良保健所運営協議会議事録

1. 日 時 令和6年5月22日(水) 18時30分～19時45分
2. 場 所 福岡市早良保健所 講堂
3. 出席者 石橋委員、石本委員、井藤委員、岩井委員、梅野委員、田中委員、長委員、椿委員、
とみなが委員、中委員、中山委員、平山委員、藤田委員、吉田委員
(以上14名、五十音順)
欠席者 荒木委員、緒方委員、壽崎委員、蓮尾委員、森田委員、牧角委員
事務局 衣笠所長、平川健康課長、中島衛生課長、宮本地域保健福祉課長
傍聴者 1名
4. 開 会 定足数確認(委員20名中14名出席)
5. 保健所長挨拶 衣笠所長
6. 委員紹介
7. 保健所職員紹介
8. 議題 令和5年度事業報告について
平川健康課長、中島衛生課長、宮本地域保健福祉課長が説明

【質疑応答】

委 員 5ページ「(1)①ア 感染症発生状況」について
梅毒の数が倍となっている要因と対策を教えてください。

事 務 局 国立感染症研究所の感染症発生動向調査によると、発生届のあった男性の40%に性風俗産業の利用歴が、女性の40%に性風俗産業の従事歴があると報告されている。また、SNSやアプリを通じた不特定多数の人とのつながりが若い世代を中心に広がっていることが要因のひとつと考えられる。さらに、梅毒などの性感染症や予防に関する知識不足も増加の要因のひとつと考えられる。対策として区内7つの大学や専門学校、区役所などに啓発のポスターの掲示や検査や相談ダイヤルを記載したグッズの設置、西新駅周辺や商店街でのグッズの配布や看板の掲示を行った。また検査体制の強化として今年度からHIVの休日即日検査に合わせて梅毒検査を実施し、検査についても周知を進めている。

委員 8ページ「(2)② 精神保健医療・福祉」について

精神保健福祉手帳所持者の増加傾向に対する所見を求める。

事務局 精神保健福祉に対する正しい理解が普及し、手帳を所持することに対する抵抗感が少なくなっていること、手帳を所有することによる税制上の優遇、公共交通機関の運賃の割引など、メリットの周知が図られているためとえられる。

委員 8ページ「(3)① 子育て世代包括支援センター」について

妊娠届出からの支援につなげた件数、及び目標値について教えてほしい。

事務局 妊婦の面談などで、支援が必要な方を早い段階で発見し、必要な支援を引き続き行うことが目的であり、具体的に何%という目標は設定していない。なお令和5年度は妊娠届出のあった1430件の10.4%の149件に支援を行っている。支援が必要となったリスク要因としては、妊婦自身が精神や知的に障がいを持っている、若年、シングルマザー、経済的問題やDVなど、家庭内の問題などがある。

委員 10ページ「(5)①健診等」について

早良区は受診率が毎年市内で1位であるがその要因は何と考えるか。

事務局 特定健診受診率向上のためのプロジェクト会議を区役所関係課で立ち上げており、様々な方面から受診率向上のための取組みを行っている。また南部地域の方が受診しやすいよう「ともてらす早良」を会場とした健診を実施しており、今年度は昨年度から1回多い5回を予定している。健診の受診先の割合を見ると、昨年度早良区では特定健診実施医療機関が80.7%、保健所が15.4%、健康づくりサポートセンターは3.9%であり、医師会の先生のご協力も要因であると考えており、ご協力の賜物と感謝している。

委員 23ページ「(1)③イ よかトレ実践ステーションの創出」について

この事業の成果指標や今後どのように取り組んでいくのか教えてほしい。

事務局 今年度は公民館を拠点としたよかトレ実践ステーションを増やしていきたいと考えている。また、総数としては140を今年度末までの目標としている。

【意見・要望】

委員 早良区は南北に長いので、健診だけでなく母子保健医療や高齢者の保健福祉、研修といった事業を区役所や保健所だけでなく、「ともてらす早良」等でも実施してほしい。

事務局 乳幼児健診は入部出張所で、子育てサロンなど乳幼児、高齢者関係の催しも「ともてらす早良」などで実施している。

9. 報告事項 保健所一元化について
衣笠所長が説明

【質疑応答】

委員 今回の保健所の再編に関する進め方についてどう思うか。また、再編後も窓口は区役所に残るといえるが、具体的な体制を説明してほしい。

事務局 昨年12月議会で保健所再編に関して大きな方針が了承され、組織体制について3月議会で了解されたため、本日の協議会での説明となった。体制について、健康課が5名減となる。主査（放射線担当）、管理栄養士が保健所に配属、健康・感染症対策係と精神保健福祉係が統合され、係長1名、係員2名が減となり、いずれも保健所に配置される予定。

【意見・要望】

委員 保健所の一元化について、市民は不安に思っている。市民が安心するためには説明や取組みが必要である。市民の不安な声に対応し、市民の不安を取り除いてほしい。

委員 保健所が各区にあるということは、身近に保健所があるという事であり、赤ちゃんが生まれた方や障がい者にとってはありがたいことだと思った。一元化となってもそのような方に保健所が身近になるようお願いしたい。